

# 時津町における総合評価方式の取り組みについて

平成20年12月3日：長崎県時津町総務課

## 1. はじめに

時津町は、長崎県の南部に位置し、古くから長崎への海路街道として、陸海交通の中心地として発展してきました。

現在、人口は3万人を越え、主要産業は長崎市のベッドタウン及び中小企業の町として発展を遂げています。

## 2. 総合評価方式の導入経緯

本町の入札形態は、20年度まで、「指名競争入札」と「随意契約」となっておりますが、町民に対する入札契約制度の透明性確保の観点から、現在、時津町入札検討委員会を開催し、一般競争入札制度の導入を含む入札制度全般に対して協議を重ねています。

国、県からの総合評価方式による入札の実施について強い要望等もありましたので、平成20年度において総合評価方式による入札を1件試行という形で行いました。

平成21年度以降は、総合評価方式による入札件数を徐々に増やしていく予定となっております。

## 3. 総合評価方式の導入結果

当初、総合評価方式の導入に際して職員の理解を得るために、県担当者による説明会を2回実施し、町職員の理解を深め、この結果、1件試行に至っております。

総合評価方式による入札は概ね満足のいく結果になったと思っており、今後も、件数を徐々に増やしていきたいと考えています。

しかし、本町では工事成績評定の導入を実施していませんので、今後導入に向けて検討する予定です。

## 4. 最後に

今回、本町においては、指名競争入札による総合評価方式の入札を行った結果、発注者として、出来る限りの公共工事の品質確保と共に、地元優良企業の健全な保護育成に資することができました。今後も品質と価格両面から評価できる総合評価方式の入札の実施に努める所存です。